

高瀬川出張所だより

平成29年6月号

平成29年6月7日 発行
発行者:国土交通省
松本砂防事務所 高瀬川出張所



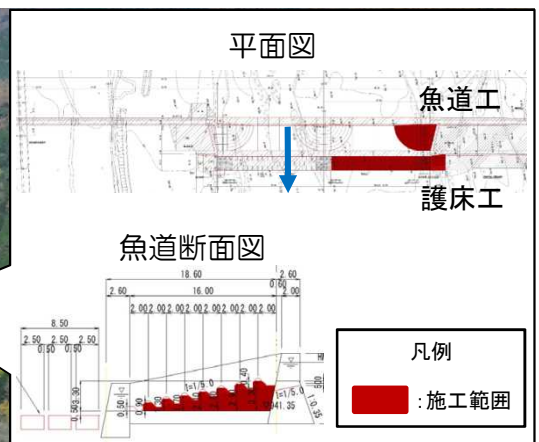
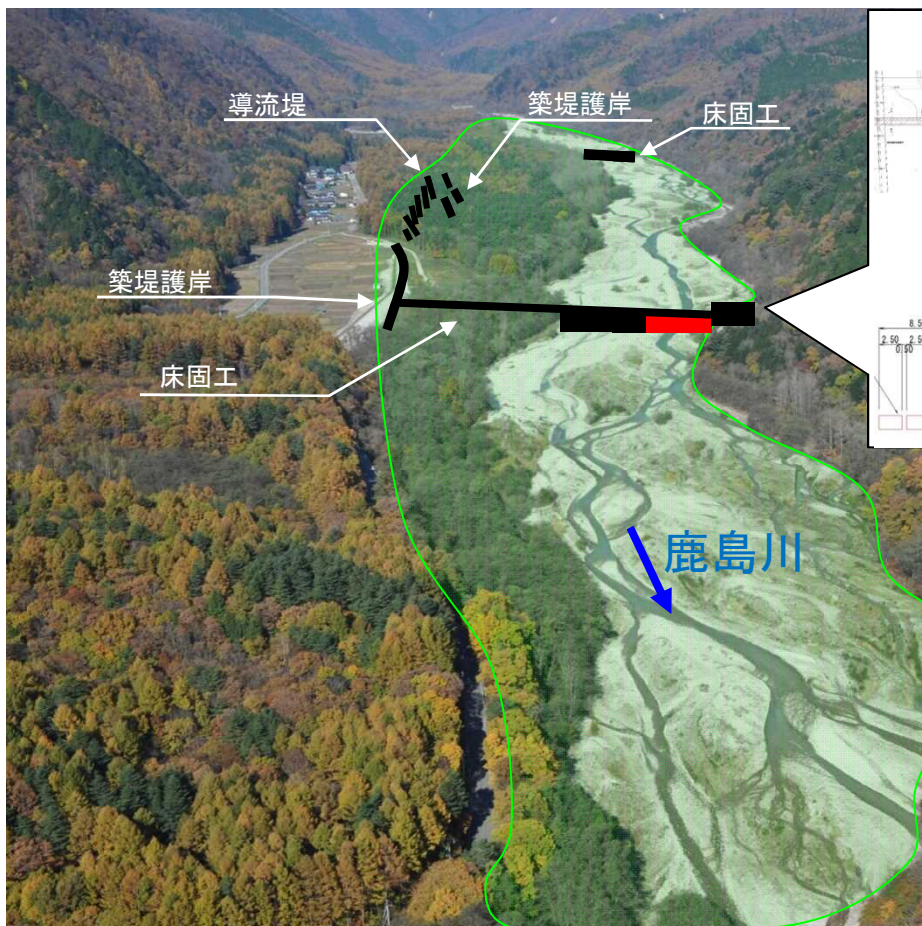
砂防工事は、皆さんが住んでいる地域を土石流災害から守るために実施していますが、その工事現場は、普段あまり目に触れる事がない山の中にあります。

高瀬川出張所だよりでは、皆さんを守るために私たちが山の中で何を行っているかをお伝えするため、工事の実施内容等を発信していきます。

高瀬川出張所は、信濃川水系高瀬川流域の箆川・鹿島川と姫川水系平川で工事監督を行っています。今回は、鹿島川で実施している「鹿島川砂防林下流床固工その5工事」を紹介いたします。

鹿島川砂防林下流床固工その5工事の概要

- 施工会社：北陽建設株式会社
- 工期：平成29年4月3日～平成29年12月20日
- 工事内容：
 - ・作業土工・・・1式
 - ・護床工（コンクリート V≒410m³）
 - ・魚道工（コンクリート V≒510m³）
 - ・護岸工・・・じゃかご護岸（92m²）



5月末現在の工事状況：護床工施工中



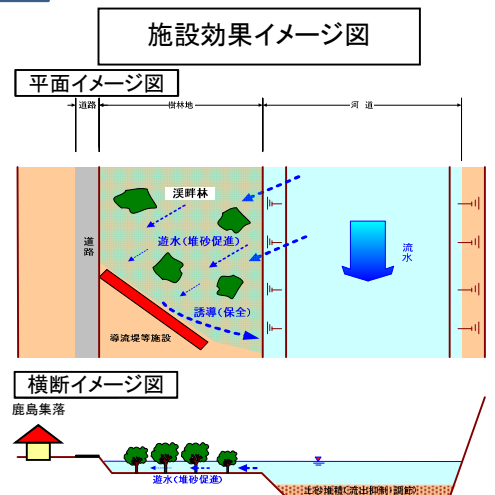
※緑ハッチの範囲：鹿島川砂防林

鹿島川砂防とは？

鹿島川砂防林は、現地の河床勾配が比較的緩く、川幅も広く、溪畔林が繁茂しているため、ハード対策（施設整備）を最小限にとどめ、これらの敷地と樹林の粗度を有効活用しています。できる限り現況の河川形態を生かし、土砂災害防止と自然環境の保全を両立させた施設です。

河畔林内には導流堤を8基設置しており、土石流の流れを河道内に向くようにすることで、土石流が流れてきても保全対象（集落・県道）を守っています。

また、河川内には不安定な土砂があることから、河道を安定させるために2基の床固工を計画し、1基は既に完成しています。現在は下流の床固工を施工をしています。この床固工は魚の遡上に配慮し魚道の設置も行っています。



技術者インタビュー

このコーナーは、現場で活躍している技術者へのインタビューを通じ、建設業のイメージアップや、建設業に興味を持ってもらうための広報活動のコーナーです。

各現場の技術者へ仕事と内容、仕事について理由、建設業を目指している方にメッセージなどのインタビュー結果を発信していきます。

今回は、「鹿島川砂防林下流床固工その5工事」で現場代理人をされている西澤さんにインタビューを行いました。

仕事の内容を教えてください

現場代理人いわゆる「現場監督」として働いています。

仕事の内容は、担当した工事の安全、品質、出来形、工程等の管理です。

現場は1日ですごいスピードで進んでいきます。職人さんに指示や、相談をしながら出来形、品質が充分な構造物をつくりつつ、材料や機械の段取り、発注者との打ち合わせなどを行っています。自分の判断が遅れたり間違ったりするとたくさんの人に迷惑を掛けるので次は何をやらなければいけないのか、何をすべきなのか常に先のことを考えながら仕事をしています。

北陽建設(株)
現場代理人
西澤 成範
平成26年 入社

建設業を選んだ理由は？

一番の理由は外で働きたかったからです。高校まで硬式野球をやっていたいつも体を動かし、そして泥だらけになっていました。そんな自分が真っ白なYシャツにビシッとスーツを着て室内で1日中デスクワークが出来るとは思いませんでした。そこで外で働ける建設業を選びました。外働くということは大変なこともあります。それ以上に楽しいことがいっぱいあるので後悔はしていません！

建設業を目指している人達へメッセージを！

ほとんどの人は建設業=3k(危険、きつい、汚い)のイメージを持っていると思います。僕も始めは思っていました。実際に建設業をやってみて確かに3kがまったくないとは言えません。けれど今の僕のイメージは建設業=やりがいの塊の仕事だと思っています。何もなしからみんなで協力しひとつのものをつくっていく。時にはめっちゃくちゃ大変な作業や厳しい天候の中で仕事をしなければならぬこともあります。しかし、それを耐えて構造物を完成させたときにはとてつもない達成感を得られることができます。仕事にやりがいを求めている人は是非建設業に！

